

6月の果実の見通し

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5か年平均	前年実績	前年比見込(%)	5か年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
おうとう		1,268	105	1,001	1,835	98	1,821	1,173	92	山形産中心。露地物は東北産地全体で開花が早く、生育期間中の好天にも恵まれたことから生育は前年よりも進んでいる。山梨産はほぼ前年並みの出荷ペースだが、5月下旬にも山形産露地物出荷が始まり、「佐藤錦」の出荷ピークは中旬の見込み。そのころには秋田産も始まり一気に出荷り量が増える。下旬には「紅秀峰」の出荷も始まり、6月比率が高まり、入荷量は前年を上回るが、価格はほぼ前年並みの見込み。
もも		1,339	105	1,064	630	101	649	0	0	山梨中心の入荷。6月中旬まではハウス物中心。山梨の雪害復興はほぼ終了し前年並みの入荷量。露地物は好天により生育が進んでおり、6月中旬には早場の早生品種の出荷が始まり、「日川白鳳」も20日ころには出始める。着果量多く、不足感はない。価格はほぼ前年並み。
ぶどう類		522	前年を上回る	564	1,418	100	1,301	26	5	島根、大阪、山梨産の「デラウエア」中心に、各種大粒品種も出そろってくる。暖冬であったが、その後の好天もあって、影響は大きくない。島根産「デラウエア」のピークは6月上旬で、潤沢な入荷が予想される。5月下旬には各産地大玉品種始まるが、本格化するのは6月半ばから。「シャインマスカット」の高値も、6月には落ち着く見込み。
すいか類		10,307	98	9,252	194	108	197	7	0	5月より気温が高く、販売環境は良好。熊本産は地震の影響はほとんど見られず、5月連休にかけて潤沢な出荷りとなった。中旬以降価格は下げ基調となっているが、千葉県産を含め価格は堅調。6月は千葉県産中心に熊本・鳥取産の出回り。生育は前進気味であるが、着果状況は良く、月通じて入荷量は安定する見込み。今後も気温が高い予想なので、価格は前年並みを見込んでいる。
メロン類		5,682	前年並み～やや上回る	5,433	371	100	372	225	4	茨城産中心の入荷。3月の天候不順で一部着果不良が見られたが、6月には影響見られず安定した入荷が続く見込み。気温高で若干生育は前進気味で玉肥大も良い。品種は青肉「アンデス」「貴味」、赤肉「クインシー」など。青肉は栽培面積がやや減っているが大玉傾向なこともありほぼ前年並みの数量。赤肉が増えていることから総入荷量は前年並み～やや増を見込んでいる。価格の低下が早い売り込みが活発であり、6月の価格は前年並みに落ち着く見込み。